

BIOGRAPHY

オガワミチ (MichiOGAWA)

アーティスト／視覚的設計を基盤に、自然と人間、環境と自己の境界の曖昧さを探究する。

1975年、東京都生まれ。グラフィックデザイナーとして活動後、ランドスケープアーキテクトに転身。里山再生やまちづくりに従事する中で、身体的体験の交差に深い関心を抱く。

現在はペインティングとインスタレーションを横断的に制作。リサイクルの亚克力板、ワックス、紙など、サステナブルな素材を選択しながら、「多面的視点」と「視覚の錯覚」を生み出し、環境に含まれる自己=ひとつの存在として可視化することを試みている。これは、「存在とは何か？」という普遍的な問いから生じる一貫したテーマである。屋内外の空間で光や風景と対話し、制作することを信条にしている。Ref-rectionシリーズでは、作品によって光の存在と、「見る」ということの曖昧な境界を探ることを今後の課題にしている。



<WEB> <https://kazikaeru.style16.net/> (for Japanese)

<https://michiogawa.art/> (for English)

<E-MAIL> michi@michiogawa.art

<Instagram> <https://www.instagram.com/kazikaeru>



<WEB>



<Instagram>



<MAIL>

【学歴】

2020年京都芸術大学通信教育部洋画コース卒業。

【受賞歴】

2024 ACTアート大賞展 最優秀賞 (The Artcomplex Center of Tokyo)

2024 第一回 あさごビエンナーレ 優秀賞 (あさご芸術の森美術館)

【個展・ふたり展】

2025 「Ref-rection」 並樹画廊 (東京)

2025 「おまけで雨」 ACTアート大賞展最優秀賞企画展、The Artcomplex Center of Tokyo (東京)

2023 「燦々」 清河泰二記念ギャラリー・市民ギャラリー (東京)

2023-2025 「オガワミチ個展」 並樹画廊 (東京)

2021-2024 「おくやまのりこ×オガワミチ」 ふたり展シリーズ、並樹画廊 (東京)

【グループ展】

2025 「余白のアートフェア MARGINAL ART FAIR福島広野」

2024 「上野の森美術館大賞展 第42回」 / 「ACTアート大賞展」 / 「あさごビエンナーレ」 ほか

2023 「第7回 宮本三郎記念デッサン大賞展」 (石川・東京) ほか

【その他】

・2026年 あさご芸術の森美術館にて個展予定

・個展・グループ展・アートフェアを通じて、作品を多数販売。

企業オフィスの他、ギャラリー、個人コレクターへの收藏実績あり。

【著書】

・『公園緑地』75巻1号『「宝の森」で育つコミュニティ』/共著 野田奏栄、小川美知:2014

・『野蚕』85号『京都産ヤママユ類がカマツカを食べる』/共著 齊藤準、野田奏栄、小川美知:2019

・『土はちきゅうのたからもの』絵:オガワミチ:2022年2月